

はじめに

私は、二〇〇七年にスピリチュアル・カウンセリングを始め、霊能者としてカウンセリングを行って
いる。

そのスタイルは、相談者の左手を握って、その方の守護霊様と交信したり、右手を握って、その方の
前世を視たりすることで、相談内容に対するアドバイスをする形式をとっている。

守護霊様の言われることを相談者に伝えることが問題解決の糸口になることがある。

相談者が自分の前世を知ること、自分の苦手なことの原因がわかって、苦手なことを克服できたり
する。一例をあげれば、火事で亡くなった前世がある方が今世で火が異常に苦手だったりする。原因が
前世にあると知ること、恐怖心が少なくなり、ご本人の心が楽になったりするのだ。

そんな霊視やカウンセリングを十年以上続けていると、不思議な事例にたくさん遭遇する。

今回、数あるエピソードの中から、ご本人からご承諾いただいた話だけを執筆させていただいた。

また、この機にと思い、スピリチュアルに縁も所縁もなかった私が、唐突にも、霊能者としてこの仕
事をするに至った経緯も書かせていただいた。

私を含め、この不思議な体験によって、自分の人生の何かが変わっていった人たちの体験に、純粹に

興味を持つていただければと思っっている。

スピリチュアルの世界を、胡散臭いオカルトと毛嫌いするのではなく、現実に起こった不思議な話として楽しんでいただければ幸いである。

二〇一九年 春 鈴木 幸江